



グラウンドゴルフ

発行/埼玉県グラウンドゴルフ協会 編集発行人/宮崎 義重
事務局/〒346-0016 久喜市東2-6-7 ☎0480-21-5748・FAX0480-23-7100



対談

——ミレニアム2000

宮崎県協会長を囲んで、語る！聞く！

平成十二年度事業のスタートにあたり、宮崎協会長を囲んで県内四ブロックより出席いただき大いに語ってもらいました。なお、この場で出された意見・要望は県協会として評議委員会や理事会の議決を経て前向きに取り組んでいただくことといたします。

〔広報〕 先ず対談をお願いするにあたり幾つかのテーマを用意させて頂きましたのでテーマに沿ってお話いただきたいと思えます。

是非指導的立場の方々力を借りて県内会員一〇、〇〇〇人を目指したいと思っております。

〔広報〕 会長より会員登録の増強を図りたいという新年度の抱負を語っていただきましたが皆さん方から各地域のご意見をお聞かせ下さい。

一、新年度「宮崎協会長の抱負について」
会長 グラウンドゴルフの愛好者は年々増えております。本年一月現在で全国一〇万人の大会を超えました。なお都道府県別では、愛知県一〇〇八六八人、熊本県 九五九〇人、石川県 六五七三三、鳥取県 五六五三三、埼玉県 五、五二七人となっております。本県は全国で五番目に登録会員の多い県となっております。

本県は全国協会登録十二年目になります登録にあたっての考え方が二分されているように思われます。一つは登録にあたって年齢的区分(市町村・県・全国)をしている傾向とグラウンドゴルフの楽しさを年齢に関係なく意欲的に広めて行きたいとする考え方があります。毎年、年齢も増し、健康も保証されていない訳ですから、そのままにしていると会員は減ってしまいます。

藤野 わが浦和市の連盟は十一年度一九四八から十二年度二六〇人に増える見込みであります。県・全国登録については加入者の諸事情(男女・年齢等)があり難しさはありますが努力しているところであります。

大澤 市内に六四支部一七〇人の愛好者がいます、この中、県・全国への登録は二〇一人の市認定指導者となっております。なお市認定指導者は毎年五〇人ほど育成しています。



出席者 (順不同)

会長	宮崎 義重
南部ブロック	小松 準 (草加市)
南部ブロック	藤野 湜 (浦和市)
東部ブロック	田畑 正昭 (岩槻市)
西部ブロック	大澤 一郎 (川越市)
北部ブロック	島田 重郎 (小川町)
事務局	田中 久男
広報委員	鈴木 敏
広報委員	古谷 都志行

島田 比企郡での会員登録は小川町が多く吉見町上細谷地区で数人いると聞いている。他の郡や地域からすると極めて少ない人数となっております。

田畑 県登録について何ら異論はないのですが全国登録となると一片の広報紙のみという感覚で捉えている人が多いので困ります。

会長 県・全国登録へのメリットをよく聞かれるのですが、私は一つには、広く仲間づくり、健康づくり、が上げられると思う。話は横道にそれますが今各種健康保険組合が皆赤字に悩んでいます健康づくりの進んでいる地域ではその赤字が少ないという。

田中 日本協会では会員増強のため「一声運動」を実施しております。これは身近な仲間を会員に誘い全国的に仲間づくりを進めて行くという考え方であります。

会長 県・全国登録を証明するものが必要に思う。以前に発行したことがありますが、費用対効果の面もあるので検討したらどうか。〔広報〕 県・全国を問わずより多くの「グラウンドゴルフの仲間づくり、参加意欲の向上」を図るためには会員共通の理解が頂けるように指導者の一層の努力を期待したいと思います。

21世紀に向かってGO!

県協会員10,000名を目指してスタート

No.	団体名	会長名	人数	No.	団体名	会長名	人数
1	久喜市市協好会	佐藤 真一	104	26	北川町連盟	野口 善吉	80
2	狭山市市協好会	藤田 真信	66	27	川宮町連盟	口木 善太郎	115
3	山郷市市協好会	川上 正昭	259	28	宮代町連盟	根中 義康	50
4	三規市市協好会	田上 正啓	899	29	松伏町連盟	田中 康新	73
5	岩槻市市協好会	柳 啓治	105	30	富士見市連盟	堀 新勝	13
6	春日市市協好会	青柳 芳忠	232	31	里見村連盟	岩清 小新	106
7	大宮市市協好会	高安 吉健	51	32	利根町連盟	水沢 茂	131
8	蓮尾市市協好会	崎沢 倉田	56	33	大飯町連盟	井上 能野	61
9	八潮市市協好会	白鳥 重弘	37	34	長瀨町連盟	澤田 井	55
10	小川町市協好会	畑 雄三	75	35	大菅町連盟	加藤 三正	0
11	行田市市協好会	中木 雄郎	125	36	川新市連盟	大井 新二	56
12	戸田市市協好会	鈴木 義重	33	37	新座市連盟	井上 能野	175
13	杉戸町市協好会	森宮 義重	400	38	新市連盟	藤 千森	12
14	加須市市協好会	桜 四郎	654	39	神井町連盟	西 和野	37
15	熊谷市市協好会	幸手 生野	56	40	大井町連盟	浦 小妻	46
16	熊谷市市協好会	羽 越草	585	41	西野町連盟	鹿 沼本	220
17	皆野市市協好会	東 越草	552	42	小妻北川町連盟	荒 栗吉	265
18	皆野市市協好会	越草 白	208	43	栗吉桶川市連盟	桶 川見	24
19	皆野市市協好会	越草 白	226	44	桶川市連盟	桶 川見	28
20	皆野市市協好会	越草 白	161	45	桶川市連盟	桶 川見	50
21	皆野市市協好会	越草 白	375	46	桶川市連盟	桶 川見	213
22	皆野市市協好会	越草 白	1411	47	桶川市連盟	桶 川見	12
23	皆野市市協好会	越草 白	51	48	桶川市連盟	桶 川見	27
24	皆野市市協好会	越草 白	234	49	桶川市連盟	桶 川見	16
25	皆野市市協好会	越草 白	70	50	桶川市連盟	桶 川見	32
				合計			8922

二、地域でのグラウンドゴルフの普及実態と
その効果

島田 最初の取組みは体育指導員よりの要請を受け市の大会に参加をしました。町ではゲートボール人口の減少をよそにグラウンドゴルフ人口は急激に増えており、現在四支部で県登録一〇五人までに成長しました。比企郡の大会では小川町が何時も常勝する結果ですが、他に町独自で春夏秋の大会、社協、町会、年金友の会、世代間交流大会等を開催し会員増強に努力しています。

藤野 わが連盟では女性が圧倒的に多い。従って仲間を誘う点は大変うまくいっている。

大澤 先般、埼玉新聞主催で生涯スポーツについての座談会が開催されました。その席でグラウンドゴルフの良さを大いにPRいたしました。

会長 全国の体協で二種目一〇〇、〇〇〇人を超すスポーツは他に例がないようです。これはグラウンドゴルフとして大いに自慢できることではないでしょうか。



薫風さわやか 渡良瀬の里!!

二二〇〇名のビッグイベント

埼玉県グラウンドゴルフ祭り

(五月五日) 盛大裡に終わる

(詳細は次号に)

三、県協会行事についての要望・意見：
大澤 県協会としてブロック大会を実施することで登録会員の増強につながるのではないのでしょうか。

会長 そのような意見を取り入れて誰もが参加できる「グラウンドゴルフまつり」を昨年から実施しています。今年は北川辺で一〇〇二人の参加を数えています。更にブロック大会の盛んな地区として埼玉・北埼玉地域が上げられるようです。

島田 県大会に参加できる人数が限られている(小川町の場合は二〜三人)。大会の回数を増やしてもらえればと思う。

会長 従来、県大会の規模を三四人から四八人と増やしている。会場等の都合で一概にいかない面もあります。

小松 県大会運営について気づいた点を幾つか申し上げたいと思います。

一つはセレモニーの際、参加者の私語が多い点であります。主催者・来賓の挨拶がよく聞こえないばかりか、大切なルール説明も聞こえない。また、休憩時間を挟んだ後のプレーで、成績が悪かった関係か、或はアルコールを飲んだのか、プレーを放棄したかのような言動は非常に心が痛みます。マナーはしっかりと守って大会にのぞむようお願いしたいものです。

大澤 マナーは本人の自覚は勿論であります。指導者(リーダー)が注意をすべきであり、参加市町村の名譽のためにも姿勢を正すべきです。

島田 参加賞・ラッキー賞を後回しにすることにより最後まで参加者が残るような工夫も一つの方法ではないでしょうか。

〔広報〕プレーが終了しても後片づけをする人がいるということを考えて、途中退場はマナーの問題として注意を喚起すべきであると思います。

田畑 学校関係では親のしつけの悪さから問題が生じるとされていますが、それを大人が集団でやられると始末が悪い面がありますね。

藤野 学校で生徒が授業中に携帯電話をかけた、すると

県協会 平成11年度総会開催 される。

去る、3月19日(日) 於 大宮市民会館、平成11年度総会が
県内登録団体会長(評議委員)出席のもとに開催されました。

総て原案通り可決されましたので、以下概要掲載いたします。

平成12年度事業計画

期 日	内 容	会 場	備 考
4月 1日~4月30日	平成12年度 登録受付	県協会	
4月 1日~5月31日	平成12年度 登録受付	(社)日本協会	
平成12年度内実施	補助事業・親子GG大会	3会場	各5万円
5月5日(金) ~6日(土)8~9	県グラウンド・ゴルフ祭り	北川辺町	主催県協会
5月13日(土)14日	1級普及指導員(マスター)	岸記念体育館	主催日本協会
5月28日(日)	県レクリエーション大会	鶴ヶ島市	主催県レ協
6月 4日(日)	県協会理事会	久喜市中央公民館	
6月中旬	会報発行		9000部
6月25日(日)	第12回県夏季大会兼	行田市総合	主催県協会
予備日7月2日(日)	全国スポレク祭選考会	グラウンド	
7月22日(土)~23日(日)	2級普及指導員(ゴールド)	長野県・松本市	主催日本協会
7月29日(土) ~30日(日)	上級指導者認定試験及び 上級指導者交歓大会	鬼怒川観光ホテル 今市市大宮川グリーンパーク	主催 県協会
8月18日(金) ~19日(土)	第8回関東大会	茨城県水戸市	主催日本協会
9月8日(金) 9~10日(日)	第13回全国 グラウンドゴルフ交歓大会	熊本県阿蘇郡 高森町	主催日本協会
9月24日(日)	県協会理事会	久喜市中央公民館	
9月30日(土) ~10月3日(火)	第13回スポーツ レクリエーション祭	石川県高松市	主催 文部省
10月29日(日) 予備11月5日(日)~6・7	第11回 県秋季大会 (青木一三杯)	川越市 安比奈親水公園	主催県協会
11月3日(金) ~6日(月)	第13回健康福祉祭 年リンピック大阪大会	大阪府	主催 厚生省
11月中	会報発行		9000部
平成13年			
1月20日(土)~21日(日)	新春交歓大会	千葉県鴨川	主催県協会
2月18日(日)	県協会理事会	大宮市市民会館	
3月18日(日)	平成12年度総会・表彰式	大宮市ソニック	

平成11年度決算報告

項 目	収 入 の 部			備 考
	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減	
前期繰越金	805,181	805,181	0	
登録金	4,300,000	4,367,000	67,000	500冊×8,734人・48冊冊
補助金	147,000	135,000	▲12,000	県レ協より
雑収入	300,000	438,906	138,906	設計・研・10冊雑誌
合 計	5,552,181	5,746,087	193,906	
項 目	支 出 の 部			備 考
	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減	
通 借 費	150,000	108,419	▲41,581	各種通知電話
印 刷 費	300,000	192,640	▲107,360	大会・事業印刷
消 耗 品 費	300,000	263,897	▲36,103	パソコン・プリンター・設置機
事務雑費	120,000	59,850	▲60,150	事務用品・紙代
事務局管理費	70,000	70,000	0	事務局使用料
会 場 費	100,000	60,980	▲39,020	各種事業使用料
会 議 費	230,000	84,343	▲145,657	各種事業使用料等
旅 費	450,000	447,010	▲2,990	旅・研・研修費
表 彰 費	200,000	142,843	▲57,157	表彰・贈答
派 遣 費	980,000	710,289	▲269,711	旅・研・研修費
什器備品	400,000	358,154	▲41,846	旅・研・研修費
事業開催費	1,150,000	950,000	▲200,000	各種事業開催
会報発行費	300,000	155,453	▲144,547	協会誌発行
交 際 費	90,000	67,738	▲22,262	70冊雑誌・贈答
慶 弔 費	30,000	0	▲30,000	
日本協会	20,000	20,000	0	県団体会長
県レ協	40,000	40,000	0	団体加入
諸負担金	150,000	150,000	0	親子大会
予 備 費	472,181	400,000	▲72,181	スポレク祭
合 計	5,552,181	4,281,616	▲1,270,565	

収入合計5,746,087円-支出合計4,281,616円=1,464,471円(次年度へ繰り越し)

平成12年1月17日監査の結果、帳簿等適正且正確であることを認めます。 会計監事 森田 茂雄

野口 善吉

【後記】今回初めての試みとして座談会によるグラウンドゴルフの持つ共通の目標に対する見方・考え方を伺いましたが、少なからず相違があることが判りました。ご出席の方々は県下、東西南北のブロックよりランダムに選ばせていただいた方々です。

(H12・4・23 於 加須市体育館)



「広報」草加市の場合、年会費二、五〇〇円、従って市の財源は五〇〇円です。しかし大会の都度参加者から三〇〇円徴収し、二〇〇円前後の参加賞を出しております。豪華商品より広く薄くして多勢の参加者に行き渡るよう心掛けています。

「広報」専らグラウンドゴルフ場の設置については現在県内で北川辺町・本庄市・幸手市・川里村と承知していますが、その他の市町村よりの報告を頂き、これら施設の共用を大いに広めていくべきと思います。

「広報」最後に予め用意したテーマ意外で何かご意見・要望等がありましたらお願いいたします。

田畑 大会参加者に「大会に参加して良かった」と思われるような大会運営が必要です。

次々に他の生徒がかけ始めた、先生はそれを静止できなくなってしまう、あきれた先生は自らも電話をかけたしまったという話もあります。(爆笑)

北から 南から 活動報告

人生あれこれ
——生きがいは自らの手で——

東部

岩槻市 田 畑 正 昭

私達の人生は、まさに「人間万事塞翁が馬」です。だからこそ、「過去を追わず、未来を憂えず」のたとえの如く、力強く生きなければなりません。

今や日本も世界的な長寿国となった現在、「人生五十、七十古希稀なり」といった「老いの概念」も変わり「人生八十、百古希稀なり」と言っても過言ではない時代を迎えました。

そこで、人生八十年の生活設計に夢と希望を持ち、「健康作り」のための高齢者にふさわしいスポーツの選択こそ、私達の大きな課題といえるでしょう。

こんな中で生まれたのがグラウンドゴルフであり、その特性が、弱者尊重・自己重視という自律度の高いスポーツであり、意外性に富み、いつでもどこでも楽しむ事のできる高齢者のライフスタイルにマッチしたスポーツは他に類を見ません。

しかも第二の人生を模索した人々がグラウンドゴルフを通して、多くの友と語り、笑い興じながら親交の和を広げる事のできるすばらしさは「一杯の飲みたる水の味わいを問う人あらば何と答せん」この感動を体得し新たな希望を見出す事でありましょう。

西部

新年度二一八三名が会員登録

川越市GG協会

川越市は、昭和六十年より体育指導員のご尽力により、生涯スポーツの振興を目的に普及活動が開始されました。

平成六年に川越市グラウンドゴルフ愛好会（加盟三四団体、会員数四二二名）が発足。加盟団体も市内全域に広がり、会員数も増加したため、平成十年に愛好会から協会へと名称を変更しました。

平成十二年の登録状況は、加盟団体が六八団体、会員数は二一八三名に達し、年々普及の一途をたどっています。

また、協会大会が開催できるグラウンドが川越運動公園陸上競技場及び川越市民グラウンドの二か所でしたが、他競技との関係で会員の要望を満たせない状況でした。

しかし市関係当局のご好意により、大きな安比奈親水公園を解放していただき、今年三月には上江橋緑地の造成が完了して、芝の養成期間を待つて使用できることになりました。

今後は会員が一堂に会した大会が開催でき、憩いの場・健康づくりの場・交流の場として多くの愛好者が利用できる事により、グラウンドゴルフの普及発展がますます図られる事を期待しています。

南部

浦和市GG連盟紹介

事務局長 岡 本 源 作

当連盟は創立以来未だ歳月浅く規模・構成組織も県下の他市町村と比較して甚だ小さな団体です。

普及が遅く進まない第一の理由は練習グラウンドが数少ない、郊外のグラウンド

は余りにも遠く交通の便が悪い等々。

然し、近年市当局も連盟の運営に積極的に各方面で協力支援して下さり、又市民の間にも徐々にではあるが理解が深まり、十一年度末の初心者講習会には、六十歳未満の若年層の方々が多数参加してくれました。

之等若年層の方々は、未だ現役（職業）のため休日利用できる練習用グラウンドが欲しい。ところが休日は、学生、諸団体が、諸クラブとの競合のため先ず望みがない。せめて大会当日が休日に開催出来ればと思います。

浦和市GG連盟会員推移状況

◎創立	平成7年7月	会員数	二六〇名
	平成8年4月	会員数	二五六名
◎埼玉県・日本GG協会加入登録	平成9年4月	会員数	二五二名
	平成10年4月	会員数	一九二名
	平成11年4月	会員数	一九四名
	平成12年4月	会員数	二六〇名

親睦を第一に

——工夫のあれこれ——

小川町島 田 重 郎

奇声ともつかず、悲鳴でもあるような喚声に振り向くと、ホールポストのリングを枕にしたように止まったボールに、ホールインワンを取り逃した残念さの「わめき」である。

技術を別におき、童心に帰って楽しむ余暇の善用は正に健康への良薬である。

小川町協会は、旧村による四支部編成で通常は支部単位で、月例の練習会に加え、支部大会を実施している。

四支部合同の大会は、選

来の年二回を、十二年度からは三回の実施となり定期大会は、通算で二十二回を重ねることになった。親睦の機会がまた中広く、技術の向上と、今度こそへの夢が、熱中をかりたてている。

ホール設定に工夫を凝らすのも面白い。障害物が幸いして、ホールインワンとなるのは皮肉であるが、それだけに喜びと話題がはずむ。商品も従来は上位者に偏ったが、昨今は参加者に重点をおいたのが、これもまた好評となる。

県認定の指導者は新会員への指導が行き届き不安を解消して楽しさを満面に表しております。又、役員は相互の反省を大切にしており「用事が重なっても二つに一つはグラウンドゴルフに決めた」とその笑顔が嬉しい。

グラウンドゴルフは、僅か十八条のルール（絶対的なもの）とマナー（常識）を共通認識としてプレーされている。しかしそこにローカルルール（特別ルール）やマナー（常識）に地域差や個人差があり兎角の論議の対象となっている。

先日ある大会で第一打で打者がスタートマットを打ってしまった。本人は打直しを主張したがチームの了解が得られずそのままの状態です。二打を打つこととした。又、隣接する二か所の会場で他の会場でプレー開始の合図が放送されたのを勘違いし第一打を打ってしまった。打者はこれに気付きチームに諮ったところ、そのままの状態でもプレー開始を待ち二打目を打つという結果になった。

これらはルールを知らないという事もあって、論議はまちまち！チームに諮られた結論を尊重してと進行

はしたが、本人はスッキリしない。

ここで大切なことは少数意見や声の大きさに惑わされることなく公平性（ルール）が確保されなければならない。スコアを追求するあまり、グラウンドゴルフの持つ「さわやか」さを決して失ってはならない。

寸楮・寸信 あれこれ